

今の世の中「偽り」だらけで、正しい情報が入ってこない「偽りの世界」ですが、知らないのは私たちだけです。世の中は「偽り」ですがあなたは偽りではありませんか「傷つけるから思っても言わない」という人がいますが、本当にそれが傷つけないことになるのでしょうか。人の為と書いて「偽」という字です。偽ってやるのか、正しい気持ちでやるのか・・・この世の中で生きていくうえでこの二つは紙一重です。日本は「偽り」を土台に大きくなってきた国です。私たちはその「偽り」の中に生きていますので、偽りから逸脱しようとすると少し障害があるかもしれません。しかし聖書は「この世と調子を合わせてはいけません。」（ローマ12：2）と書いています。そこには「真実」がないからです。（詩15：1～5）この中で弱いところはありませんか。「損になっても、立てた誓いは変えない」（4）。損は利益が上がらないことではありません。「面倒くさい」「今日はいいか」というのも損の一つです。不利益が生じる、努力することでくたびれる、そういうところからくる誘惑です。「友人に悪を行わず、隣人への非難を口にしない」（3）「自分は悪なんて行わない」と言っても、心の中で思っていることと違うことを発言するこれも「悪」になるし、テレビを見て「あの人しょうがないな」ということも「隣人への非難」に変わりありません。その人に愛がないときに、その人に発する言葉はよい言葉であっても心の中で非難する気持ちがあれば「非難」なのです。あなたは偽りでないものを持っていますか。（エペソ4：22～27）偽ることは悪魔に機会を与えることになります。心を治めて口ではいいことを言うというのは心の中は怒っているのでそのまま日が暮れるまで放っておくと悪魔に機会を与えるのです。だからこそ私たちは心の中にあるものをきちんと口に出して伝えて、そこで解決することがクリスチャンにとっては大事です。問題を目にして放っておく・・・それが今の現実です。理不尽なことではないのではなくあなたの心の中にある良心に従ってあなたの真実を通してあなたが目の当たりにしていることに対して正しい答えをだすということは、私たちクリスチャンにとって必要です。それと心の中に鎮めてもみ消すことが正しいことではありません。情欲に引かれて人を欺くような生き方をしないようにしなくてはなりません。「まことのみ」を結ぶことが真実でありそれが「みこころ」です。「真実な者は自分のたましいに報いを得るが、残忍な者は自分の身に傾いをもちます。」（箴言11：17）ダビデは真実の対義語として「残忍」という言葉を使っています。真実に生きない（心の中に秘めたものがあっても伝えない（偽る）約束したのに果たさない（裏切る））という行為は残忍なのです。あなたは約束を果たしているのでしょうか。「自分のために」「人のために」という人は果たしていないことが多いのです。自分にとって大事なのは「相手」ではないからです。口では「あの人のために」といいます。でもそれは「大義名分」なのです。「あの人に救われて欲しい」本当にそういう気持ちを持って接しているかどうか考えて欲しいのです。最終的に自分の身に傾いを引き起こしてしまうので自分が偽っているということに気付いて偽らない生活を送らなくてはなりません。偽って生きれば心の中に解決されないものが残ります。真実に尽くされると人は怒れないものです。あなたは真実に尽くしていますか。あなたが偽って真実を果たさずやっていたら悪魔は欲なくあなたに告発してきます。神様は拒むものは助けられません。制裁で気付くのは痛い失うものがあるのです。だから私たちは果たすといったことは果たさなくてはならないのです。自分に不利益を被ったとしても約束を果たさなくてはなりません。約束を果たさない限り利益を得ようとしても無理です。「神様、こういうふうになりますのでこうしてください」と神様、神の家族、家族、救いに導こうとしている人と約束をし、祈っていて、実を結ぶ瞬間に腐らせてしまうのです。実を腐らす病は「裏切り、偽り他」です。こういうことを繰り返している限り、真の実を結べません。「裏切り、偽り」を今日捨てましょう。ほとんどの人は裏切ったり偽ったりしたことを忘れて主義主張をします。やっていたことは確かにあるのです。しかし、9割やっていたとしても1割のうそ、偽りがあったらダメなのです。小さなことです。「罪は戸口で待ち伏せして、あなたを恋い慕っている。だが、あなたは、それを治めるべきである。」（創4：7）「エデンの木の実の一つぐらい・・・」と思ったのです。でも全てを失いました。私たちの土台を見直してください。良い実を得るためにあなたから偽りをどれだけ捨てているのでしょうか。人は裏切ったり失敗したりします。しかしその後の態度が大事なのです。そこで開き直って何もしない人間ではいけません。悔い改める実を結ぶ必要があります。神への悔い改めは希望に導くものだとあります。そのとき得られないものもありますが取り戻す道はあります。しかし悔い改めなければ一生取り戻すことはできません。悪いと気付いた時に、やめるかやめないかです。悪いことは必ず明るみに出されますが、出されたものは光です。明るみに出してもあなたに悔い改めるチャンスをあげたいのです。ユダとペテロの違いです。ユダは恥を出されたときに、「恥をかかされた」と出ていってしまいました。しかしペテロは人々の前で「サタン」「裏切り者」と言われてもそこで出て行きませんでした。そして一度は裏切りましたが、最後は本当にイエス様に従い「イエス様が上で架かれたのであれば私は下で架かるべきだ」と言いました。裏切ったからです。ペテロの強い悔い改めです。裏切った人は代償を喜んで受け入れています。それぐらい従ったのは多く、愛されたからです。あなたは赦されて多く愛しているのでしょうか。一度の失敗を2度と繰り返さないそのような決意を持っているのでしょうか。問題とは多くのことを学べる機会です。問題があるのはあなたが偽りの種をまいたからですが、それを蒔いた後の対処が大切です。偽りを見抜く力と、自らが偽りになったとき、どう対処するかを見つけないではいけません。そうでなければ神様の栄光を表して歩むことはできません。真実の実を得るために①御心を知る。（ヨハネ6：37）御心とは誰一人滅ぼさないということ。あなたのやっていることが御心かどうかを判断するのは、あなたのとっている裏切りや偽りによって滅びる人がいないかどうかです。あなたの発言をもう一度気をつけてみてください。自分に任されている人を滅びに向かわせるなら御心ではありません。あなたはどのような態度で人と接しているのでしょうか。私たちは自分を擁護する発言がたくさん出てきます。（エペソ5：15～17）一つあなたにせよと言われていたことがあります。でも私たちはそれをしません。だから弱ります。主の御心を知るといことは大切です。御心を知っているはずですから、それをしない限り次はありません②御心を知ったら変える。変える努力をしてください。あなたを通して救いに導かせるみこころは難しいことをしなくてはならないのです。ナアマン將軍も7回ヨルダン川に浸る（完全肉に死ぬ）ことで不治の病のらい病が癒されました。「主がせよ」といわれたことを守れば変わるのです。神様は不可能を可能にする、ないものからあるものを与えると言っているのです。それで信仰があるかないかを試しています。頭の中であなたの浅はかな経験で語る前に信じる気持ちがありますか。やろうと思っっていますか。（ローマ12：2～3）これができているかどうか考えなさいと神様は「量り」をくれました。「神様これはみこころですか」と一つ一つ聞くことが御心ではないのです。信仰の父と呼ばれたアブラハムは一つ一つ聞いてはいません。どっちにいても自信がありました。神がせよということをする自信があったからです。神様が約束してくれたことを信じていたからです。御心だと言われたあなたにせよと言われたことを信じて果たすことが御心につながるのです。せよといわれたことをきちんとすることが大切です。③真実の愛で生きる。全ての行動に愛がなくてはなりません。人のためだなんていってはいけません。神様のためです。イエス様は「人のため」だとも「自分が選んだ人を救う」とも言っていない。「神が自分のところへ遣わした人を救う」と言っています。イエス様が愛していたのは神です。父のみこころを行うものを父が選び救いに導く、だから自分の元へ来た人を決して滅ぼさないと断言しているのです。あなたが捨てない限り、神様は決してあなたを捨てません。流されて神様と呼ばないことを捨てるといいます。愛を基盤においていますか。あなたに任されている人を本当に愛していますか。本当に愛していれば悪い言葉をその人には話さないし、いらぬ思いを持って接しません。神を愛する愛でその人を愛さなくてはなりません。ダビデは「いつも私の前に主を置いた」と言っています。あなたは置いていますか。ダビデは「主を」知っていました。あなたも神様とイエス様と聖霊様を知ってください。御心は伝え行うときにあなたの言葉に、心に、感情に与えてくれるものなのです。御心を知り、自分を変える努力をし、愛をもって行っていればあなたは実践できるのです。その逆をして「あの人のため」だと自己中心的なことをしていれば決してあなたの心に御心が表されることはありません。計画も終わりです。「やりなさい」ではなく「御心知りなさい」「変えなさい」ではなく「変える努力をきなさい」そして愛をもってやりなさいなのです。神様はあなたの外側ではなく内側を変えようとしています。心の目をもって神を見、隣の人を見てあなたが実践せよといわれていることを実践してください。もう偽り、裏切りはやめましょう。（要約者：岩崎祥誉）